



MyMath

使い方ガイド

InDesign 用数式ツール ・ バージョン 0.25

<https://mymath-indesign.web.app>

1. インストール

ひとつのインストーラーがエディターと InDesign プラグインをまとめてセットアップします。設定することは何もありません。

1 インストーラーを実行

MyMath-Setup.exe をダブルクリックします。何も聞かれずにインストールされ、完了するとエディターが一度起動します。

💡 「Windows によって PC が保護されました」と表示されたら、**[詳細情報] → [実行]** をクリックしてください。まだコード署名をしていない無料ソフトのために表示される案内です。

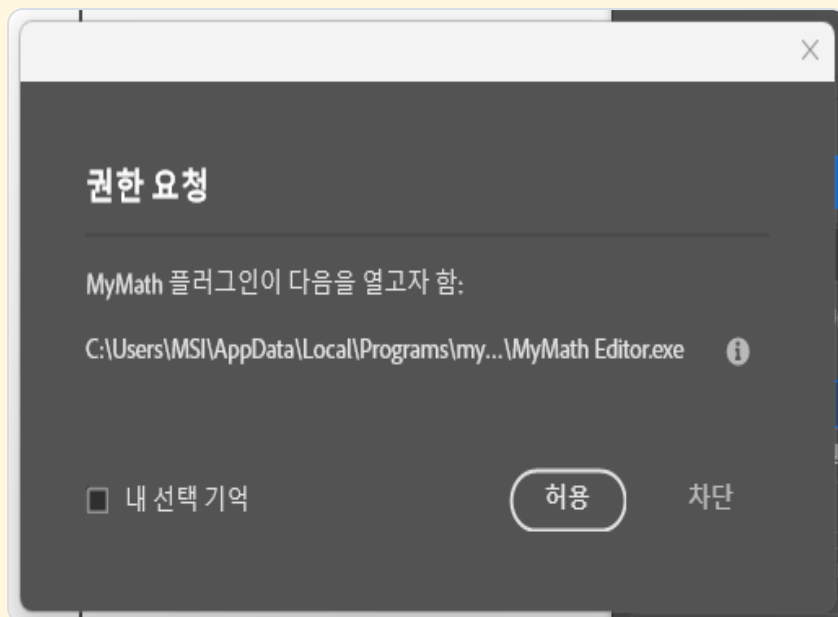
2 InDesign でパネルを開く

InDesign を再起動し、メニュー **[プラグイン] → MyMath** を選びます。パネル下部の「連携設定」のフォルダー欄にパスがすでに入っていれば準備完了です。

3 最初の一度だけ — [許可]

初めて数式を配置するとき、プラグインがエディターを起動してよいか InDesign が確認します。**選択を記憶する** チェックボックスをオンにして **[許可]** をクリックしてください。以後は聞かれません。

Adobe の標準的なセキュリティ確認で、すべてのプラグインに同じように適用されます。



必要環境

- **InDesign 18.5 (2023年8月) 以降** — それより前のバージョンは、この方式のプラグインパネルを実行できません。
- **Windows 10 / 11** と Adobe Creative Cloud アプリ (InDesign をお使いなら、すでに入っています)。

アンインストール

Windows の設定 → アプリ → 「MyMath Editor」をアンインストール。エディターと InDesign プラグインが一緒に削除されます。すでにドキュメントに配置した数式はそのまま残り、これまでどおり印刷されます。

2. 最初の数式 — 10 秒

いちばんの近道はパネルのクイック入力欄です。InDesign から離れる必要はありません。

1 テキストフレームにカーソルを置く

数式を入れたい場所を文字ツールでクリックします。

2 クイック入力欄に入力する

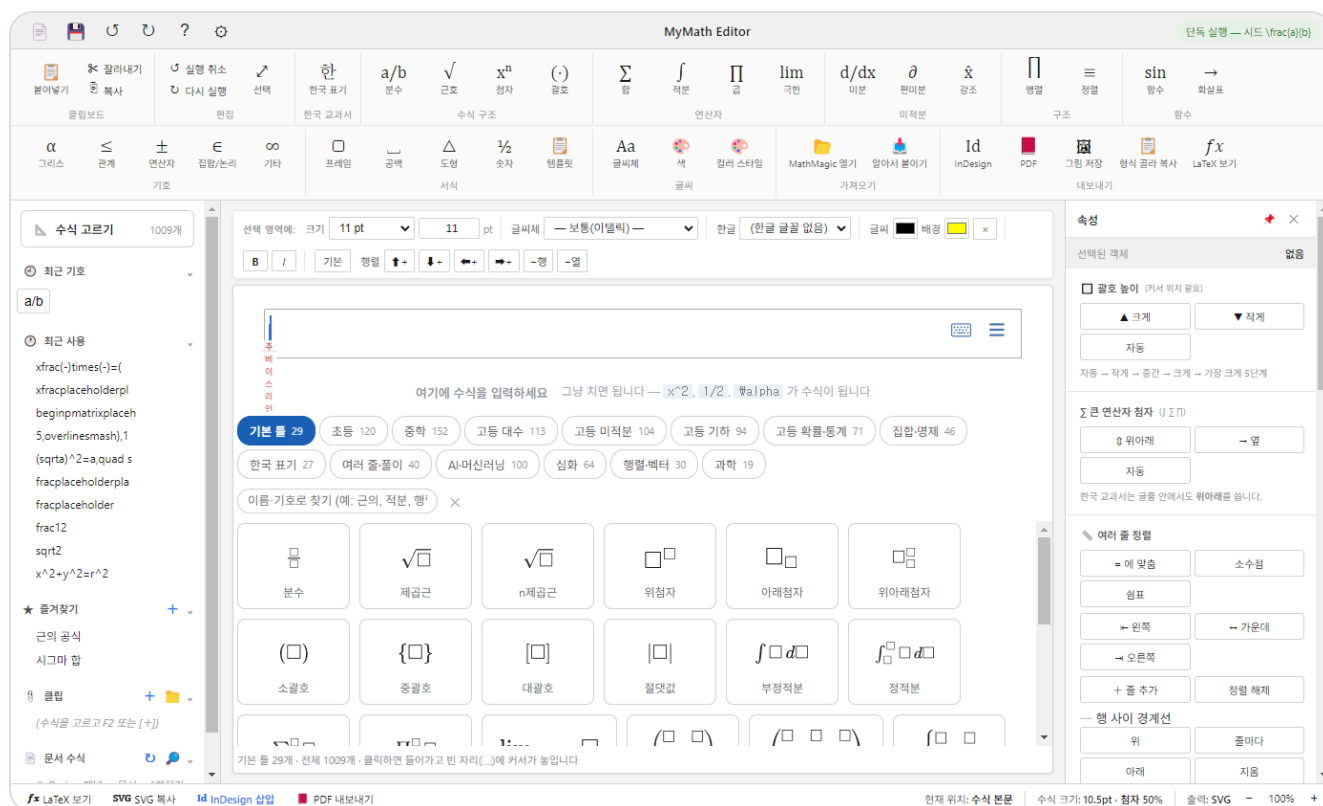
読んだとおりに入力します — $1/2$ 、 x^2 、 $\sqrt{2}$ 、 $(a+b)/(c+d)$ 。LaTeX ($\frac{a}{b}$) でもかまいません。

3 Enter を押す

エディターがバックグラウンドで描画し、カーソル位置に配置します。本文の文字サイズに合わせられ、縦位置も自動で調整されます。

3. エディターで数式を作る

長い数式はパネルの **[数式を編集]** でエディターを開きます。できあがったらエディターの **[InDesign]** ボタン (または **Ctrl + S**) — カーソル位置に配置されます。



いちばん速い方法 — 選んで直す

キャンパスの下の数式ギャラリーには、1,000 以上の数式が実際の組み上がりそのままの形で用意されています。近いものをクリックするとキャンパスに入り、最初の空欄 () にカーソルが移ります。数字と文字を変えるだけです。

一から作る

- **そのまま入力** — x^2 や $1/2$ が入力と同時に数式になります。
- **リボン** — 分数・根号・積分・行列・括弧などのパレット。行列はサイズを指定するウィザードが開きます。
- **Ctrl + /** — 名前で探す **記号検索** (「根号」「積分」「順列」など)。
- **Ctrl + G** のあとに文字キー — **ギリシャ文字** ($G \rightarrow \gamma$, $\text{Shift}+G \rightarrow \Gamma$)。キーボード配列や入力モードに関係なく使えます。
- **Enter** — **改行** (複数行の数式)。プロパティパネルの [= に整列] で等号の位置をそろえます。

- **Ctrl + Shift + V** — スマート貼り付け。Word の数式・MathML・AsciiMath・LaTeX を判別して貼り付けます。

よく使うものをまとめておく

左のサイドバーに**最近使用・お気に入り・クリップ**があります。クリップは名前付きのファイルとして保存されるので (**Documents\MyMath\Clips**)、フォルダーごと同僚と共有できます。

4. 数式を修正する

数式のエデータがドキュメント内に保存されているので、いつでも同じ場所で修正できます。

1 ドキュメント内の数式をクリックする

選択ツールでクリックします。パネルにその数式の内容とサイズが表示されます。

2 [数式を編集]

その数式を読み込んだ状態でエディターが開きます。

3 修正して [InDesign]

同じ場所の数式が置き換わり、後ろの文章は自然に流れ直します。

5. 原稿をまるごと

数式が何百もある本を、ひとつずつ入れる必要はありません。

\$...\$ で書かれた原稿

数式を x^2+1 のようにテキストのまま書いた原稿を InDesign に流し込み、パネルの「ドキュメント」セクションで **[\$...\$ 数式を変換]** を一度クリックします。すべての x^2+1 が数式グラフィックに変わります。本物のドル記号は $\backslash \$$ と書けば変換されません。

Word・Hangul の原稿

テキストフレームにカーソルを置き、**[原稿を配置 (Word・HWPX)]** をクリックして $.docx$ または $.hwp$ ファイルを選びます。本文が流し込まれ、原稿内の数式も自動でグラフィックになります。古い $.hwp$ ファイルは、先に Hangul で HWPX 形式に保存し直してください。

範囲

パネルの **[範囲: ドキュメント全体 / 選択フレーム]** で処理の対象を絞れます。ひとつの章だけ変換したいときに便利です。

6. ドキュメント全体を扱う

すべての数式を再組版	本文サイズや組版設定（添え字の比率・線の太さ・色）を変えたあとに実行すると、ドキュメント内のすべての数式が更新されます。隣のサイズ欄で、すべての数式をひとつのサイズに統一することもできます。
一覧をエディターへ	ドキュメント内のすべての数式が、エディターのサイドバー「ドキュメントの数式」にページ番号付きで表示されます。クリックするとその数式を編集できます。  チェック は、入力ミス（描画されないコマンド）・空欄・重複を見つけます。校正の段階でお使いください。
数式を数える	「数式 128 個・34 ページにわたる」のようにすぐに表示します。
書き出し	CSV（ページ・内容・サイズ）、SVG、PNG。同じ数式を Web やスライドで使うときに。

7. 縦位置

行内の数式は本文の文字の中心に自動でそろえられます。手を加える必要はほとんどありません。

特定の数式だけ少し動かしたいときは、その数式を選択してパネルの「縦位置補正」の ▲ ▼ を使います。一度に動かす量 (0.05 ~ 1 pt) は隣のドロップダウンで指定します。**[0]** で自動の位置に戻ります。この調整は選択した数式だけに適用され、あとから配置する数式には影響しません。

8. 印刷品質

- 数式は**ベクター PDF** として配置されます。どれだけ拡大しても鮮明です。
- 黒は 4 色掛け合わせではなく**純粋な K100** なので、墨版だけに刷られます。PDF/X-1a 書き出しで検証済みです。
- 文字を**アウトライン**で描くため、数式用フォントをインストールしたり印刷所に送ったりする必要はありません。
- 数式グラフィックはドキュメントに**埋め込まれます**。リンクファイルがないので「リンク切れ」も起こりません。
- エディターの環境設定 (**Ctrl + ;**) の「印刷の色」で、CMYK の直接指定・**特色**・**オーバープリント** を選べます。ほとんどの本は初期設定 (K100) のままで問題ありません。

9. 言語

パネルとエディターは **InDesign** の言語に従います。別の言語を使いたい場合は、パネルの連携設定のいちばん下にある言語で選んでください。パネルはすぐに、エディターも続いて切り替わります。エディターだけを変えるには、エディターのメニュー **表示** → **言語** を使います。対応言語：English・한국어・Deutsch・Français・日本語・Español・简体中文・Português・Italiano・Русский。

10. 困ったときは

[プラグイン] メニューに MyMath がない

InDesign が 18.5 以降かどうか確認し (ヘルプ → InDesign について)、InDesign を完全に終了してから起動し直してください。インストール時に「プラグインを追加できませんでした」というメッセージが出ていた場合は、インストーラーをもう一度実行してください。

[数式を編集] を押してもエディターが開かない

最初の許可の確認で [ブロック] をクリックした可能性があります。デスクトップの **MyMath Editor** を自分で起動しておけば、パネルがすぐに接続します。エディターを開いたまま作業するのがいちばん速い方法でもあります。

数式を配置したら本文の文字が見えなくなった

パネルの「ドキュメント」セクションにある **[画面を再描画]** をクリックしてください。表示上の問題で、ドキュメントの内容はそのままです。

数式の中に赤い文字が表示される

不明なコマンド (入力ミス) です。エディターでその部分を直してください。空欄 () が残っている数式は、配置する前にエディターがお知らせします。

エディターが突然終了した

もう一度起動すると、キャンバスの上に復元バーが表示されます。[復元] をクリックすると、最後に編集していた内容が戻ります。

それでも解決しないときは

パネルは独自のログを残しています。 `%APPDATA%\Adobe\UXP\PluginsStorage\IDSN` の下の `PluginData` フォルダーにある `panel-boot.log` です。このファイルを一緒に送っていただければ、原因をすぐに特定できます。送り先は uibsee@hanmail.net、または GitHub の Issue に添付してください。